



## 冬期間に花を楽しもう

【指導員】 園芸課 鈴木 康弘

これから冬本番を迎えますが、冬の間を楽しむ花の管理について紹介いたします。ぜひ育ててみてはいかがでしょうか。

### 寒さに強い花。シクラメン

寒さに強く、冷涼な気候を好みます。日光不足や乾燥が続くと葉が黄色くなったり、茎が細くなったりといった影響が出るので、暖房の影響を受けやすい日当たりの良い窓際で管理するようにします。最低気温2℃程度まで耐えられますが、育成温度は18℃前後を目安にしてください。水やりは鉢土の表面が乾いたら十分に与えるようにします。咲き終わった花は、切らずに花茎ごと抜き取ります。花茎が残っていると、そこから病気が発生することがあるので、しっかりと抜き取るようにしましょう。



近く咲き続け、咲き終わった後に肥料を与えると毎年楽しむことができます。

### 可憐で美しい花。シンビジウム

日光とたっぷりの水を好む性質です。冬越しできる最低温度は5℃程度ですが、できれば10℃以上の環境を作るよう心がけてください。極端に乾燥する暖房機の近くは避け、また気温が25℃以上になると落蕾することがあるので注意が必要です。水は霧吹きなどで葉水を与えることも大切です。管理次第で4月まで花を楽しむことができます。

### 切り花を長持ちさせるポイント

花瓶に生けた切花は、ちよつとした手間をかけるだけで長持ちします。いくつか

のポイントを紹介しますので参考にして下さい。

#### ◎水揚げ

切花を長持ちさせる基本的な作業です。花屋で売られている花は水揚げ済みですが、一度水から出すと空気に触れて水の吸い上げが悪くなってしまうので、生ける前にもう一度やりなおすと花の持ちが断然違ってきます。

#### ①水切り

水を張った中で茎を3cmくらい切ることで水の吸い上げが良くなります。ほとんどの花はこの方法で対応できます。斜めに切り吸水面積が広がるようにすることが大切です。

#### ②煮沸

しおれ方のひどいものに効果があります。最初に花や葉を直接熱が当たらないように新聞紙などで包み、茎の先端を熱湯の中で5〜10秒煮て、

すぐに水を張ったバケツに入れ水を吸わせます。生けるときは変色した部分を斜めに切ってから生けてください。

#### ◎花を生けた後の管理

水は基本的に毎日換えたほうが良いでしょう。また、花瓶の中もいつも清潔にして、ヌメリや汚れなどがある場合は洗ってから花を生けるようにしてください。水に浸かる部分の葉を取り除くことも大切です。

◆12月16日(土)と17日(日)の両日、「シンビジウム展示即売会」を行います。毎年恒例の即売会では色とりどりのシンビジウムをお手頃な価格で提供いたします。お気に入りの一鉢を探しに、是非ご来場ください。詳しくはインフォメーション(P23)をご覧ください。